

※6月26日に旧組織として第1回学校協議会を開催したため、新学校協議会の名称を使用している。

1 日時：平成24年11月27日(火) 午後3時～午後5時00分

2 場所：大阪府立清水谷高等学校 校長室

3 協議会委員：

委嘱委員

(敬称略)

| | |
|----------------------------|--------|
| 近畿大学 教職教育部 教授 | 田中 保和 |
| 東大阪市立楠根中学校長 | 槇 光則 |
| 平成24年度 同窓清友会副会長 | 伊藤 恵美子 |
| 平成24年度 大阪府立清水谷高等学校 PTA 副会長 | 林 宏匡 |

校内出席者

校長、教頭、事務長、首席2名

※記録：首席

4 内容：

- 1 学校協議会開会
- 2 配付資料確認
- 3 校長挨拶
- 4 委員紹介、委嘱状手交
- 5 会長選出 -旧学校協議会座長(田中委員)が引き続き会長となることが承認される
- 6 協議
 - ① 学校協議会実施要項についての説明
 - ② 学校経営計画の進捗状況について
 - ③ 学校評価について
 - ・「志学 授業アンケート」 7月以降の取組み
 - ・「学校教育自己診断」
 - ④ 保護者からの意見調査の現状について
 - ⑤ 教科書選定に関する報告
- 7 次回日程等諸連絡
- 8 校長挨拶

5 協議：

①学校協議会実施要項について

第三条(組織) 「委員は原則6人」を、継続の4人の委員でいく/ 府教委も了承

第四条(会長) 会長代理を林委員に願います

第六条(会議)の6 「会議の日程、場所等については、広く府民に周知するとともに……」とあるが、清水谷関係者以外の参加もあり得るか？

- あり得る /傍聴規則の作成等も必要になるかもしれない

②学校経営計画の進捗状況

◆学習活動の充実

- ・センター試験出願率が70.7%に減少。
数値目標であるが、達成したかどうかの問題ではなく分析が大切である。
- ・指定校推薦に流れるなど、早く決めたいという心理があるのか。
- ・大学はAO入試や指定校推薦を減らす方向にある。
- ・大学で高校の内容の学習をフォローアップしている。
多くの科目を学習し、大学での学びの準備をしておくという意味で、センター試験受験を目標としている。－ 普通科の良さにつながる。
- ・どこの大学に行きたいではなく、どの分野を学ぶかが大切。大学の教授の研究内容やシラバスを知ることが大切である。
1年次から、現役大学生の話、大学の出前授業の実施を進めている。また、教員は専門性を生かしてアドバイスしている。

◆生徒指導の充実

- ・不登校傾向の生徒についての指導体制や状況について協議。
保護者に肩の力を抜いてもらうことも大切である。
－ 家庭訪問や電話連絡等を通じて、保護者の話し相手となる。

◆学校運営の充実

- ・生徒と向き合う時間を確保するための仕事量の軽減についての議論を始めたところとあったが、その仕事量は何で測るのか？－ 負担感などである。
- ・中学校では校務システムが導入されていて、これまでは個人にかかっていたものが、少し全体に振り分けられるようになった。

③学校評価について

◆志学 振り返り HR での「授業アンケート」について

- ・結果を集計し、教員に結果を配付、教科会での討議を経て、授業展開している。

◆学校教育自己診断について

- ・趣旨の説明後、アンケート項目について協議。ご意見をいただいた。

④保護者からの意見調査の現状について

- ・現在のところ寄せられた意見はなし。今後、申し立てのあった際の手順などについての流れや決定方法について確認。

⑤教科書選定に関する報告

- ・府教委提出書類（選定理由書）にそって、選定に係る取組みを説明。

⑥その他

- ・職業体験の現状はどうか。
－ 1日看護体験、幼稚園教員体験などは従来から実施している。
- ・同窓会（清友会）との連携で、「働く」ということの話ができればと思う。

6 その他：

- ・次回日程 新学校協議会第2回 3月26日(火) 15時開会